

# 全 仏

NO. 238

5 / 53



## 仏跡シリーズ ⑨ <ブダガヤー金剛宝座>

日本では12月8日が成道会とされているけれど、インドではヴァイシャーカ月(太陽暦4月~5月)の満月の日、ブダガヤーの金剛宝座では、お釈迦様の成道をしのんで、仏教徒たちが敬虔な祈りをささげる。

(カメラ・松本 栄一)

財団法人 全日本仏教会

昭和53年5月1日

# WFB日本大会

## 各式典の大綱きまる

### 十月一日に開会式(築地本願寺)

第十二回世界教仏徒会議(WFB)日本大会は、十月一日の閉会式で幕をあげ四日まで東京、六日の閉会式は京都にて開き、七日からは各地で地方大会が開催されるが、開・閉会式ならびに歓迎大会など式典部門の大綱が次のように決定した。

- 7 式辞(大会総裁)
- 8 歓迎の辞(大会々長)
- 9 挨拶(WFB会長)
- 10 祝辞
- 11 各センターメッセージ披露(国王、各国元首よりのものに限定)
- 12 各国土産物贈呈
- 13 閉会の辞
- ◎ 日程説明(JTB、ISS)
- ◎ 記念写真

### 歓迎大会

【歓迎大会式次第】

- 日時・十月三日 午後四時
- 場所・東京 国立劇場
- ◎ステージにWFB会長、副会長、代表団、比丘団、本部役員等をあげる。
- 1 開会のことば(司会・井上白宏師)
- 2 三帰依文、挨拶(大会々長)
- 3 歓迎のことば(実行委員長)

### 閉会式

【閉会式次第】

- 日時・十月六日 午後四時半
- 場所・京都 国際会議場
- 1 開会宣言(司会・吉田啓堂師)
- 2 三帰依文(導師・山田無文親下)
- 3 挨拶(大会々長、議長団代表)
- 4 大会宣言決議文(起草委員長)
- 5 土産品贈呈
- 6 謝辞(外国代表)
- 7 大会旗降納
- 8 閉会の辞(大会事務局局長)
- 9 代表団退場

### 開会式

【開会式次第】

- 日時・十月一日 午前九時半
- 場所・東京 本願寺築地別院
- ◎パイプオルガン演奏、仏教讃歌合唱の中を入场する。
- 1 大会内外来賓入場
- 2 大会総裁入場
- 3 代表団入場(比丘先頭)
- 4 仏教徒物故者追悼法要(築地本願寺声明会)
- 5 三帰依文(大会副会長)
- TISARANA(南方比丘)
- 6 開会宣言(WFB会長)

### 記念出版の細目もきまる

### 英文で二百頁、九月に刊行

WFB日本大会の記念事業として、英文の記念出版が企画され、編集会議を重ねて検討されているが、この度、その細目が決定され、すでに諸先生によって原稿執筆中である。

記念出版は日本仏教の紹介を主に、英文二百頁程度、九月初旬刊行の予定で準備されている。概要は次のとおり。

- 一、歴史と思想篇
  - イ、歴史(伝来、奈良、平安、鎌倉)
  - 徳川、明治(現代)
  - ロ、思想(上座と大乘、日本仏教の特徴、諸宗派の特徴)
- 二、生活と文化篇
  - イ、生活(日本仏教徒の習慣、年中行事、現代の諸問題・新興宗教)

- 三、資料篇
  - ◎日本仏教史略年表
  - ◎日本仏教宗派別一覽
  - ◎日本仏教関係文献目録
  - ◎仏教関係教育福祉施設一覽
  - ◎日本仏教地図
  - ◎代表寺院案内
- これらの中で、前文の挨拶文は大谷光真会長にご依頼する。二のイの現代の諸問題・新興宗教の原稿については、座談会を開き収録する。原稿執筆は花山、坂本、田村、村野、市村、小笠原、松海、島、村石、佐伯、奈良先生に依頼する。

# 大会準備急ぐ各委員会

## 基調演説の講師など

### 会議委員会で話し合い

会議委員会（金岡委員長）は四月三日午前十時半より全仏会議室で開催され、次のように話し合われた。

#### 一、基調講演・分科会について

①基調講演はメインテーマ「仏教徒が思考する未来社会像」に基づいて講演を依頼することとなった。

②分科会の問題提起者については第一、第三分科会それぞれの先生を選定し依頼する。早速受諾方依頼し、合せて講演レジメを提出願う。

③分科会開催趣意を日本仏教文化会議終了後作成し、趣意書とレジメを各センター等に配布する。

④一分科会参加予定として、海外代表三十名位、全仏加盟団体三十名位、実行委員三十名位、招待学者五〜十名位で会場設営（同時通訳）をする。

⑤各分科会の司会進行について選考し依頼する。

⑥出席招待学者のリストアップした。  
二、パネルディスカッションについて  
①テーマはメインテーマをそって行うこととなった。

②司会、パネラーを選考し依頼する。

三、事前研究会開催について

分科会のステップとして、第十一回日本仏教文化会議（全日仏・IBEC）を事前研究会として開催してもらおう。期日会場は六月二十日、東京グランドホテルとし、リストアップした諸先生に出席をお願いする。

四、京都における閉会式において金岡委員長が分科会報告を行う。

### ポスター図柄きまる

#### — 広報委員会 —

広報委員会（村野委員長）は四月三日午後二時より、全仏会議室において第三回目の委員会を開催し、懸案であったポスターの図柄等が決定した。

まず広報活動計画として、すでに業界三紙に全面広告を掲載し、年賀状を全国寺院に発送し大会の開催を知らせたのにつづき、さらに大会の盛り上げと周知徹底のため、主たる寺院へ向けてのポスター作成と、仏教タイムス紙をポスターと

して使用する企画を説明。この計画について図柄を同一にすることで承認。なおポスターは、まず八千枚を印刷し、主たる寺院、各県仏、地方大会開催地などに発送される。仏タイ企画は、上質紙を用いて全国七万カ寺へ発送しポスターとして掲示をお願いする。

次に懸案となっていたポスター図柄については、色彩等一部修正を加え、大会名に英文を繰入れることで承認された。

このポスターについて、著作権と転載については全仏に迷惑のからぬよう文書で確認することなどについて、委員会の席上で業者と確約した。

決定したポスターの図柄は、仏教界としては斬新なもので、「二十一世紀における仏陀のメッセージ」というメインテーマにふさわしいものである。

### 仏英研の講義強化

#### — 記念事業委員会 —

記念事業委員会（花山委員長）は四月十五日午後三時より全仏会議室で開かれ委員長挨拶のあと、次の事項について討議された。

一、仏教英語研究会について 高尾山での春合宿（別掲）を報告のあと、会の充実のため日程等について検討し、五月からは小グループ制をとり、四回中二回は外人講師に依頼することとなった。

一、記念出版編集について 別掲通り英文二百頁で九月初旬刊行予定で、原稿は四月中に提出される。

### 地方大会など討議

#### — 式典委員会 —

式典委員会は各チームに別れて、それぞれに検討を重ねている。その報告等をふまえて四月四日午後二時より委員会を開催した。

一、新美委員長選化により、仲田順和師を委員長に選出し、新らしく副委員長に坂本観昇、吉田啓堂の両師を選出。

一、別掲通り、各チームの協議報告をもとに開・閉会式等の次第を決定した。

一、地方大会については、七日の妙心寺大会のあと鳴門市、長岡市、川越市、比叡山などの開催が決定したとの報告があり、その他数ヶ所は交渉中である。

### 続々参加申し込み

#### 各国四十二地域センター

WFB日本大会に寄せる各国地域センターの期待は非常に高く、参加申し込みが続々よせられ、過去十一回の大会になり最大の参加数といわれる。

現在まで渉外部でまとめた数。

◎参加申込センター 四十二センター

◎センター正式代表 八十名

◎オプザーバー 八十八名

◎非公式オプザーバー 百九十名

この他に予定中との回答もある。またこの数の中には為替管理のため渡航困難なセンターも含まれている。これらの国に対しては関係機関に働きかけるとともに特別委員会を設置し対策を考える。

# WFBY実行委発足

## 全国の仏青を結集して

世界仏教徒連盟の下部組織として組織化されてきている世界仏教青年会(WFBY)が、今秋のWFBJP日本大会の開催を期して、東京にて大会を開きたいとの要望がなされたのを受けて、大会事務局においては、全仏の加盟団体である全日本仏教青年会に、その開催方の意向を打診してきたが、同会がWFBYにも加盟していないこともあり、昨秋以来、受け入れのことが決定しないままであったが本年に入り一月二十三日に同会理事会を開催、WFBYへの加盟、大会受け入れ、実行委員会の設置等を決め、二月十六日バンコックにて開かれたWFBJP執行委員会に申し入れ、態度決意をした。

WFBY大会実行委員会については、全日仏青加盟団体より当初人選をするが、全仏加盟の各家派・県仏・諸団体の仏青また大学仏青等の強力な協力を受けて、WFBY日本大会実行委員会を構成することが望まれ、活発な展開がされるであろう。

第一回実行委員会は、去る二月二十日東京・芝の増上寺会館にて開かれ、実行委員役員等の人選を行ない左記のように内定した。

- 委員長 杉谷義純(天台仏青)
- 副委員長 永倉嘉文(神奈川仏青)

事務局長 川島宏之(高野山仏青)  
事務局次長 摩尼和夫(神奈川仏青)

### WFBJP事務局の動き

「みんな頑張っています」

第十二回WFBJP日本大会まで、あと百五十三日(五月一日より)となり、WFBJP事務局もスタッフを強化しエンジン全開。来局者も日毎に多くなり、電話だけでもたいへんな数。また事務局員も南へ北への忙しさで、早くもオーバーワーク

### WFBJP大会メモ

#### 世界仏教徒連盟

WFBJP(世界仏教徒連盟)は一九五〇年六月六日、スリランカの首都コロンボで、当時のセイロン大学教授マハラセーケの呼びかけに応じて集まった世界二十七地域の代表により設立された。日本からは高階龍仙、中山理々、佐瀬淳光の三師がこれに参加した。これは大乗・上座・金剛等の世界の仏教

だとの声もあるが一回元気で頑張っています。

☆先月号でもお知らせしましたが麻布照海事務総局長は腎臓炎のため入院中ですが、経過はきわめて良好です。

☆新任の渉外部長としてハッスルしている一島部長は我孫子(千葉県)の先から、また記念事業の山田部長は八王子、鎌田企画部長は和光市(埼玉県)と、とにかく遠くから来て頑張っています。

☆寒風の中あり、温暖の地ありと南へ北へと飛びかうのは中村式典部長と市橋勸募部長。徳島かと思えば次は岩手、福井の次は北海道、群馬、静岡と大忙し。自坊そっちのけで奮闘中。中村部長いわく「長ゲツを二回も買ったよ」(雪にまわられて)ご苦労さまです。

☆外国からの手紙が増えてきて整理する庶務の高木さんも大変。このころ英徒が部派の違いを越えて一堂に会した史上始めてのことであった。以後WFBJPは二年に一度の世界大会を開いて来たのをはじめ、各種の活動を通じて、世界の仏教徒の友好の増進と仏道の普及に勤めている。

現在六十六のセンター(加盟団体)が世界各地にあるが日本からは全日本仏教会が日本センターとなっている。なお、昭和二十七年に第二回大会を日本で開催し、この大会を契機として日本センターが発足、二十九年に全日本仏教会が創設された。

語に強くなってきて?各部へスムーズに配達。

### WFBJP事務局人事

- |        |      |
|--------|------|
| 総局長    | 麻布照海 |
| 総務局長   | 加藤海晃 |
| 勸財局長   | 安藤義祐 |
| 渉外局長   | 竜山哲成 |
| 運営局長   | 来馬規雄 |
| 庶務部長   | 島田弘道 |
| 企画部長   | 鎌田良昭 |
| 記念事業部長 | 山田一真 |
| 勸募部長   | 市橋俊昭 |
| 経理部長   | 花木義光 |
| 広報部長   | 一島正男 |
| 渉外部長   | 服部光順 |
| 会議部長   | 中村昌之 |
| 式典部長   | 樹谷淳宣 |
| 接待部長   |      |

### 財的参加不可能国に

#### 特別委員会を設置

WFBJP日本大会を開催するにあたり、当初より懸念していた代表者の金銭的な困難さによる参加不可能が、最近になってより具体的な問題として上ってきた。

この点につき、事務局としてはこれに対する救済のための特別委員会を設置し三月九日、四月四日の二回協議した。

この結果、最大限一センター二名として援助方策を考え、全仏よりWFBJP大会などへ派遣された人々を原則として、救



# 日宗連より厚生大臣あて 宗教保育所問題で要望書

日本宗教連盟では、先に日本宗教保育協議会より提出の「私立保育所の設置経営主体の社会福祉法人への移行促進に再考を促す要望書」について審議を重ねて来たが、四月五日、日宗連より理事長名の添え状をつけて、文化庁事務課を通し厚生大臣宛、厚生省児童家庭局母子福祉課へ、小林昭延・日本宗教保育協議会委員長、比留間眺氏、吉田仁六日宗連事務局長が同行、要望書を提出した。

なお、日宗連より提出された要望書は次の通りです。

昭和五十三年三月八日開催致しました財団法人 日本宗教連盟理事会において次の件を審議致しました。

昨年十月二十九日付の東京都民生局長名をもって、私立保育所設置経営主体の社会福祉法人への移行促進について通知が出された件につき、日本宗教保育事業協議会より、再考を促す要望書が日本宗教連盟を経て団体官庁に提出されたいとの書簡を受取りました。

当、日本宗教連盟理事会において、検討した結果、信教の自由と宗教本来の活動から見て、日本宗教保育協議会より要望された事項について理事会も共に別記の要望書を提出する次第であります。

従って日本宗教保育協議会よりの要望を是非御受諾下さいませよう改めて願うものであります。

日本宗教保育事業協議会

委員長 小林昭延

厚生大臣 小沢辰男殿

私立保育所の設置経営主体の社会福祉法人への移行促進に再考を促す  
要望書

このたびは東京都民生局長名(昭和五十二年十月二十九日付、五二民尼母第七〇二号)をもって東京都の個人立と宗法の保育所に対し、私立保育所の設置経営主体の社会福祉への移行促進について、かなりきびしい表現をもって通知が出されました。

この通知は、公共性、純粋性及び永続性を確保しているのが社福法人であり、その反対に一時的、不安定な施設が、個人宗法であるとの理由から出されたものであり、即ち次の二点が主なるものであります。

(1) 個人立として設置認可された保育所において設置者の死亡等の理由で設置者を変更する必要がある場合は、原則として新たに社会福祉法人を設立して行なうのなければ保育所を継続して経営することはできない。

(2) 児童福祉法第五十六条の二の規定に基づき保育所の施設整備に要する費用に対する補助は、社会福祉法人、日本赤十字社又は民法第三十四条の規定により設置された法人の設置する保育所に対してのみ行なうこととされております。

従って個人及び宗教法人が設置する保育所は施設整備等の補助対象となりません。

以上の二点から都は勿論厚生省の方針が、ますます法人化への移行を強化してきたことがわかるのであります。個人立の場合は一応理解できるとしても、宗法の場合は絶対承服しかねるところであります。国及び都の画一化は、次第に幼児保育の特色や特殊性をなくしてきています。しかも、個人立にしろ、宗法にしろ後継者の悩みは次第に深刻になってきております。経営の永続性を維持するためには、勿論、補助金の対象になっていなければならぬはずでありましょうが、すべて、物質的なものだけたよって施設の恒久性、安定性を図られる考え方には賛成しかねます。宗法こそ、むしろ安定性、純粋性、公開性、永続性が本来から備わっていたのであり、現に最低基準を維持するための設備や施設の改善を積極的に実施して恒久性を確保し、特色ある高次の人間形成を目指して地域の要請にこたえているのが、わが宗教法人の保育施設であります。従って境内地の転用について有利な条件(社福化して設備施設のメリット)をもって安心する二枚看板

(宗法と社福法人の二分化)の保育よりあくまでも宗法という一枚看板で、名実ともに備わった保育のあり方こそが、わが宗法設置者の強い願いであります。社福化になればたしかに災害又は老朽化の場合の再建費が与えられるでしょうが、そのために、かえって宗法本来の活動が停滞し弱体化して児童福祉の理念と、社会福祉事業を生かすことすらできなくなってしまうのです。

長時間保育、障害児保育、乳児保育と母親の労働と専門性が問われてきてるとき、かつ児童福祉が改めて見直されている今日にあって、次の諸点を充分ご検討、ご研究下さいまして、宗教法人のままで安心して続けて行きたい全国保育施設に対し、何分とも、ご理解ある施策を要望いたします。

要望事項

- 一、宗法立の保育所に対する公共性、永続性、純粋性、安定性の認容。
- 二、個人立とは、明確に区別すること。
- 三、社会福祉事業法(第二種)と宗法立との位置づけ関係を明確にすること。
- 四、行政指導が各地方によって異なり、その強、弱とバラツキ指導の誤りを是正してもらうこと。
- 五、社会福祉法人になっても、人事(理事構成)、土地、建物、事業、活動の契約、定款を宗教法人本来の目的、活動に支障を及ぼさないようにしてほしいこと。

以上

# 加藤、中村、博林の三氏に

## 仏教伝道文化賞

第十二回仏教伝道文化賞（仏教伝道協会・宮本正尊理事長）の贈呈式は、三月二十八日午後一時半から、東京・芝の仏教伝道センターで行なわれた。

今回の受賞者は、伝道文化賞に立正大学教授・中村瑞隆氏、在家仏教協会理事長・加藤三郎氏の二名、功労賞に駒沢大学元総長・博林皓堂氏がそれぞれ受賞された。

贈呈式は来賓多数参列のなかで、沼田恵範常務理事の礼拝、久保田正文顧問の三帰依文のあと、佐藤密雄選定委員長より選定委員会の審査状況報告があり、宮本正尊理事長から各受賞者に賞状・記念

品が三氏に贈呈された。

つづいて博林皓堂氏の受賞にたいして宮本理事長、加藤三郎氏には竹村吉右衛門氏、中村瑞隆氏には中村元先生がそれぞれ賛辞を述べたあと、披露の宴もたれた。

### 中国仏教協会の

### 友好代表団訪日

中国仏教協会責任者の趙樸初師を団長とする「中国仏教協会訪日友好代表団」一行十二名が、日本の仏教友好交流のため四月十日に来日した。

### 仏教電話質問

混迷する社会にあって、若者の自殺老人の孤独など問題は多い。こうした中で数年前より、文明の利器である手近な電話で対話し相談にのる「仏教電話相談室」、「いのちの電話」、「テレフォン説教」などが寺院で行な

われ好評を得ているという。

全日仏事務総局の中にも「電話相談室」をつくれとの声もある。ただ現在の体制等ではたいへんむずかしいことはまがいない。しかし「仏教質問」は非常に多いこともたしかで、時に頭をかかえ、あわてることもある。これらを大別してみると、案内型が一番多く、次いで仏事百般型、事情調査型などである。

①寺院案内型 とにかく観光案内所のようなもので、花で有名な寺は？

一行の来日は、日中国交回復以来、仏教界としては初めての代表団訪日として注目されている。一行は二十九日まで、関東、関西の諸本山や諸団体と交流し懇談するが、まず十一日に歓迎レセプションが東京・ニューオータニで開催され、仏教関係者多数と懇談した。

### 故長田恒雄詩集刊行

詩人として独特の作風をもち、仏門の出身者として、仏教詩・信仰詩として多くの遺作を残されておられる長田恒雄さん、三月に一周忌を迎えその詩作を仏教諸団のご協力により発行いたしました。

発行所は長田恒雄詩集刊行会、東京都千代田区大手町一―一六―一、在家仏教協会気付で、限定五百部にて、詩集「俱会一処」として発行しておりますので、同会宛にお申し込み下さい。会員販布送料とも一部一六〇〇円。

精進料理を食べられる寺は？ 知恩院の電話番号は？ 高野山は泊めてもらえるか？ など毎日ベルが鳴る。

②仏事百般型 お葬式の相場は？ お線香は何本あげるのか？ 本山への分骨は？ 何回忌までやるのか？ お経を習いたい？ などこれも数多い。

③事情調査型 宗派の数は？ 檀信徒の数は？ などむずかしい。

その他に、糊經に学生しかこない！ 寝たきり老人の話し相手を手をノなどの苦情もかなりの数にのぼる。(N)

### 寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (841) 4965

### 21世紀におくる仏陀のメッセージ

第12回世界仏教徒会議

日本大会を成功させよう

昭和53年10月1日→6日

東京・京都

◇掲◇示◇板◇

和歌山県仏人事

▼和歌山県仏教会は池田泰道会長の遷化により、後任会長に前田孝道師を選出した。副会長は留任。連絡は和歌山市紀三井寺二〇一・紀三井寺内  
建長寺派人事

▼臨済宗建長寺派では任期満了にともない、宗務総長に本場大亀師を選出決定した。

築地本願寺輪番交代式

▼築地本願寺では藤岡義昭輪番にかわり新しく芝原郷音師が輪番に就任。その交代式が本堂で行なわれ、全日仏より鱒淵事務総長が出席し祝辞を述べた。

鶴見総持寺晋山式

▼曹洞宗大本山総持寺では、四月十日午前九時より乙川陣映新貫首の晋山式を執行了した。

鬼原素俊氏逝去

▼画家の鬼原素俊先生は三月十六日心筋梗塞で逝去。七十五歳。今秋のWFB日本大会には協賛事業として、三越本店で「大会記念仏画展」を開くことが決定していただけに逝去が惜しまれる。先生の作品は、川崎大師等にも数多く奉納されている。

事務総局録事(四月)

六日 新聞信雄師本葬参列  
局内会議

十一日 中華人民共和国代表歓迎会  
十七日 日宗連理事會  
十八日 局内会議  
二十六日 文化會議運営委員會

WFB事務総局録事(四月)

三日 會議委員會  
広報委員會

WFBY事務局會議

四日 特別救援委員會  
式典委員會

五日 静岡県仏へ  
局内會議

六日 全日仏婦と打ち合せ

七日 仏教英語研究会

十日 特別救援委員會

十一日 正副委員長會議

十二日 栃木県仏へ  
鳴門市仏へ  
高野山へ

十三日 仏教英語研究会

十五日 川崎大師へ

記念事業委員會

十七日 仏教英語研究会  
局内會議

十八日 英文ニュース編集委員會

二十日 埼玉県仏へ  
京都府仏へ

二十一日 実行副委員長會議

二十四日 式典小委員會  
接待委員會

二十七日 仏教英語研究会

二十九日 記念出版打ち合せ

発行人 鱒湖正浩  
編集人 来馬見雄

發行所 財団法人  
全日本仏教会

東京都台東区西淺草一ノ五ノ五(築地本願寺内)

TEL 03(370)8333  
振替 東京一七五二四

どの寺も一冊を

—住職さんの基礎知識—

入門 寺の会計

著者 公認會計士 宮村久治  
定価2800円 送料200円

◎好評発売中

—目次の一例—

- 一、お寺に会計はなぜ必要か
- 一、お寺の運営と会計
- 一、お寺の税金
- 一、帳簿と記入の仕方
- 一、予算表の作り方

◎問答五六項目

- 税金にどんな特典があるか
- 住職に係る税金
- 源泉徴収について
- その他、五三項目

—注文は直接ハガキで—

寺の法律

千共二七〇〇円

墓地問題の総編

千共三〇〇〇円

檀家の心得

(本を注文の方に見本贈呈)

世話人用 寺の役員心得

千共二二〇〇円

〒151 東京都渋谷区代々木二一六一一三

創作社

TEL 03(370)8333  
振替 東京一七五二四